

2015.12.25

北海道支部 土橋支部長 殿

関東支部長 齋藤 寛

何時もお世話になり有難うございます。

11月初旬の新人戦を以て公式戦は全て終わりましたが、12月の初旬には、支部・連盟の1年間の締めくくりである関東総会、全日総会が続き、加えて本学の納会も開催され多忙の毎日でした。

先週末には学内行事も終わりましたので、現在は総会の議事録の作成作業を行っており、来月以降は承認事案等の具体的な執行についての検討を始めるところです。

ところで、過日の関東総会においては、懸案となっていました東日本大会に開催について支部としての考え方を整理した処ですが、その結果、関東支部の対応案を下記の通り示し、今後貴支部と協議を重ねて行くことにしました。

この対応案は支部としての大まかな考え方を整理したもので最終結論ではありません。最終結論を出すに当たっては、貴支部との議論を重ねて双方が合意した内容を最終結論にしたいと考えています。従いまして、北海道支部との議論については支部長預りと致しましたので、その点をお含み置きの上、貴支部の考え方を示して戴ければと存じます。

支部総会において提起された東日本大会に関する議論

1. 今年を含めて2度に亘って札幌で本大会を開催したが、今年の本大会においては、交通費・宿泊費等の経済的な負担が大きすぎる、銃器の輸送に不安があるとの理由で参加しない加盟校があった。この2点の不参加理由については、加盟校すべてが共有する問題であるから、大会のあり方について支部としての見解を取りまとめるべきである。議論の方向性を下記に示す3点に絞って議論を進めて貰いたい。

①現状通り、関東と北海道での隔年開催とする

②恒常的に関東での開催とする

③大会を取り止める

但し、支部長としては、本大会を立ち上げた趣旨に鑑み（支部間交流と北海道支部の活性化支援）、③は除外し今後も引き続き大会を継続させる方向で検討して貰いたいとした。

※大会の隔年開催を回避した理由として挙げられていることの一つには、銃器の安全輸送の問題がある。極めて深刻な問題でもあるので、寄せられた具体例を次に述べる。これは、某大学からの報告である。これに関する類似例は外に2～3例を仄聞している。

関東は参加者が多いため、銃器の輸送にトラブルが発生している。航空機での輸送においては銃器専用コンテナが必要となるが、航空会社で用意できるコンテナ

数に限りがあるため、簡易梱包での輸送とならざるを得ない。この為、銃身にダメージ（銃身が曲がった。）が発生した。

2. 関東支部内で議論したコスト及び支援内容について

①本大会を2年に一度札幌で開催する場合、関東からの出場校及び出場者が多い所為もあり、関東支部単位の総コストは北海道支部が関東に遠征する場合に比して数倍になると予想される。（参加校から遠征についての総コストをヒアリングしていないので定量的な面での説得力はないが、推定値で比較した。）

②費用総額を考慮すれば、恒常的に関東で開催し北海道支部が蒙るコスト面でのデメリットを関東で補てんした方が得策であると思われる。

③その場合、北海道支部の負担増に対して、時期及び支援額について配慮する必要がある。

時期及び支援額についての意見は、次の通り。

a.2016年の大会時から支援すべきである。

b.2016年は、元々関東での開催が決まっていたので、北海道支部支援は翌年（2017年）からにすべきである。

c.支援額については、支部間交流でもあり全額負担は除外し、関東の負担能力に応じた負担をすべきである。参加人数を問わず一定額を北海道支部支援金として予算化する。

d.支部の選手及び学連員に対し、航空運賃の半額相当分を負担し、金額配分は北海道支部に委ねるべきである。

3. 学生間における意見交換

当支部の学連委員に指示して貴支部の学生と意見交換をさせた処、貴支部からは前段③-dが望ましいとの意向が示され、当支部学連委員もこの方向で意見集約をしたいとの考えのようです。

以上が、当支部における東日本大会の開催に係る大まかな議論の内容です。当支部においては、本大会を継続するとの前提で議論していますので、貴支部の忌憚のない意見をお聞かせ戴ければと思います。

開催日程の問題もありますので、2月中には何らかの結論を出せればと思いますので、お取り計らい方、宜しくお願いします。